

「産む／産まない」をめぐる歴史と現在

—荻野美穂先生をお迎えして—

出生をめぐる倫理研究会は、歴史学者の荻野美穂先生をお招きした公開研究会を開催いたします。中絶や避妊という産まないことをめぐる歴史、出生前診断をめぐる産まない選択の現在、養子縁組やシングルマザーなどの産む選択の難しさ、生殖補助技術による産むことの多様化など、「生殖」を広い射程でとらえ、「産む／産まない」をめぐる歴史と現在について議論します。

【講師】

荻野 美穂

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授。歴史学、ジェンダー研究。

主著：『生殖の政治学——フェミニズムとバース・コントロール』（山川出版社・1994年）

『中絶論争とアメリカ社会——身体をめぐる戦争』（岩波書店・2006年）

『「家族計画」への道——近代日本の生殖をめぐる政治』（岩波書店・2008年） 他

【日時】

2011年3月6日（日）

14:00～17:00

【会場】

立命館大学衣笠キャンパス

創思館 401・402 教室

参加費無料・事前申込不要

◇主催： 2010年度立命館大学大学院先端総合学術研究科公募研究会「出生をめぐる倫理研究会」

◇共催： 立命館大学グローバル COE プログラム「生存学」創成拠点、立命館大学生存学研究センター

◇研究会連絡先： 吉田一史美（立命館大学大学院先端総合学術研究科生命領域3回生）
gr013089@ed.ritsume.ac.jp

